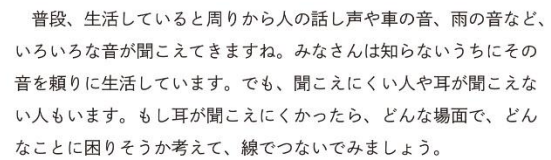


いよいよ3月になりました。みなさんにとってこの1年はどんな年でしたか。それぞれこの1年間でたくさんのことを経験し、学び、感じて成長してきたことと思います。

★ ★

健康生活の反省をしよう

安全生活の反省をしよう



喜びの中に治療しておきましょう

生命の授業 ～かけがえのない生命～

2月8日（木）に、銚田市健康増進課の保健師さんを講師として、1年生を対象とした「かけがえのない生命」の授業を行いました。生命の誕生のしくみについて正しく理解し、その素晴らしさや尊さを感じることができました。さらに、誕生時のお話を聞くことで、自分がこれまでたくさんの人たちに支えられて生きていることを知り、家族への感謝の気持ち、周りの人々への思いやりをもつことができました。自分自身を見つめ直すことで自分の生活や生き方についてしっかり考えることができたようです。保護者の方もたくさんご参観くださり、ありがとうございました。



授業の内容

- 生命の始まり（受精、胎児の成長、出産について）
- 赤ちゃん抱っこ体験
- インタビューカード（出産のときの様子や願い）朗読
- DVD鑑賞
- まとめ



【保護者の方へのインタビューから…】

- ・生まれてきてくれてありがとう。その感謝を込めて独り立ちするまで笑顔がたくさん見られるように、寄り添って共に歩んでいきたいと思いました。
- ・元気に産まれてきてくれてホッとして、小さくて、温かくて、可愛くて、胸がいっぱいで幸せな気持ちでした。
- ・本当に小さくて、初めて抱いた時にはおっかなびっくりと同時に命の大切さと重さを実感したのを覚えています。元気に育ってください！
- ・かわいくて、お姉ちゃんになれたのが嬉しかった。
- ・東日本大震災の後だったので、不安な気持ちでいっぱいでしたが、元気な声を出して生まれてきてくれて幸せな気持ちになりました。
- ・難産だったため、母子ともに心配しましたが、無事に出産できたことに感謝しております。
- ・我が家に生まれてきた初孫に、言葉に出すのは難しい程感謝感激で、ありがとうしか言えないほど嬉しかったです。



お子さんの誕生時のインタビューへのご協力、ありがとうございました

【生徒からの感想】



生まれてくることは当たり前のことではないというところが一番印象に残った。だから自分の命を大切に、感謝の気持ちを忘れずに生活していきたいです。

辛いことがあっても一生懸命に頑張って乗り越え、命を大切にしていきたいと思った。そして家族にしっかり感謝を伝えていきたい。

自分に自信をもって、親に感謝し、人のために何か進んでできる人になりたいと思う。

自分を誇りに思って生きていきたい。

自分が最初は米粒よりも小さいことに驚いた。自分がどのように生まれてきたのかがわかった。

私たちの最初の姿は、針穴ぐらいしかないとこからここまで大きくなったことやあんなに小さいのにみんな意志があるところが神秘的だった。

母親だけではなく、産まれてくる子供も頑張っていることに驚いた。これからも自分や支えてくれる周りの人を大切に生活していきたい。

一日一日を大切に、悔いのない人生を送りたい。

どんな命でも、たった一つのかけがえのないものであり、赤ちゃんが生まれることは奇跡なんだと思った。これからはその命を大切に、みんなの役に立てる人になりたいです。

出産は母体だけではなく、生まれてくる子にも負担がかかる大変なことだと知った。

自分は、何億個の中の1個として、無事に生まれてきたことは「奇跡」なのだとわかりました。「かけがえのない命」を大切に、1日1日を大切に過ごし、家族に感謝を伝えたいです。

赤ちゃんも頑張ってお腹から出てきたことを知り、自分はすごいと思った。

一度しかない人生を大切に、楽しい毎日が送れるようにしたいです。また、親に感謝の気持ちをもって日々生活し、いつか恩返しがしたいです。

生まれてきてよかったと今よりも思えるようにしていきたいです。

もっと親といる時間を長くして、感謝の気持ちを伝えていき、親に迷惑をかけないようにしたい。

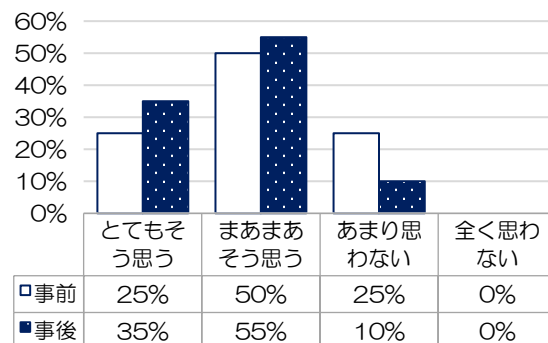
これからは自分に正直になって、もっと自分のことを大切にしていきたいと思った。

【アンケートの結果】

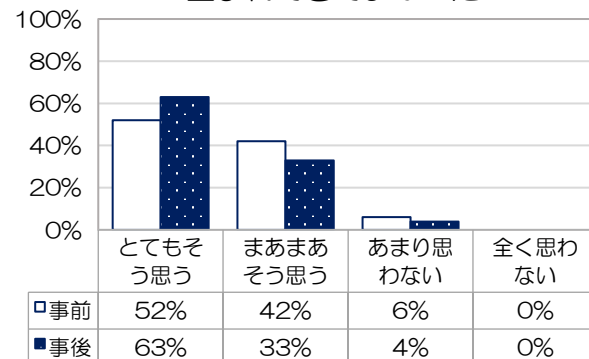
忘れないでほしい。
あなたがそこにいて、
まわりのみんなに夢と希望を
もたらす
はかり切れない 力があるということ。



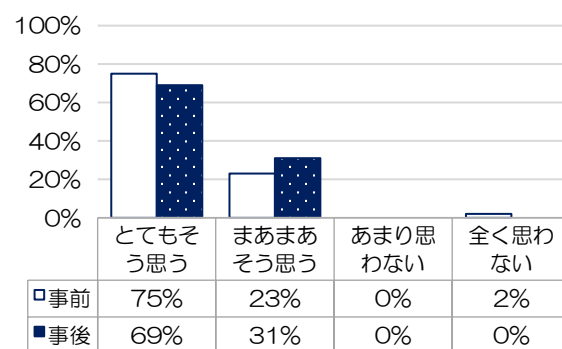
自分のことが好きだ



生まれてきてよかった



家族に感謝の気持ちがある



命の大切さがよくわかる

